



国立情報学研究所 CiNii

寺澤 裕子

I. はじめに

複写依頼に医中誌 Web や JDream II などの検索ソフトの結果ではなく、CiNii などのページを持参する人を見るようになりました。CiNii を提供している国立情報学研究所が提供するサービスのうち、特に図書館員として知っておくと便利な CiNii Articles, CiNiiBooks, Webcat Plus を紹介します。

II. 国立情報学研究所について¹⁾

正式名を“大学共同利用法人情報・システム機構 国立情報学研究所 (National Institute of Informatics)” (以下、NII) といい、文部科学省が所管する国内唯一の学術総合研究所です。

ここでは情報学[※]に関する研究と事業活動が行われていて、そのひとつに日本国内で発行される学術情報を広く流通させるための事業活動があります。

学術情報は国立国会図書館・大学図書館・学協会といった研究機関などから収集します。これらの施設が発行している学術雑誌・研究報告書、所蔵資料の書誌や所在情報 (所蔵館または電子ジャーナル全文) や専門分野のデータベ

スなどを収集して一般ユーザーに無料または有料で提供しています。NII は提供元である前述の施設と連携したり、施設を支援したりしてこれらの事業活動を行っています (表 1)。

III. CiNii

CiNii には論文を探す CiNii Articles と本や雑誌の所在を探す CiNii Books があります。

1. CiNii Articles 日本の論文を探す

(1) 概要

<http://ci.nii.ac.jp/>からアクセスします。

学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報を検索できます。論文数は 1,500 万件 (2012 年 5 月) あり、検索結果のうち約 400 万件が本文まで利用できます。

論文検索と無料公開している全文までは契約なしに無料で利用できます。全文入手したい論文が有料の場合は、契約すると無料または割安で入手できます。契約には機関定額 (法人) と個人契約があり、病院は機関定額で契約できます。

(2) 検索方法

検索には論文検索 (簡易検索と詳細検索)、著者検索と全文検索があります (図 1)。

検索すると「検索一覧画面」が表示され、論題をクリックすると「論文詳細表示画面」に変わります。

全文が入手できるかどうかは「結果一覧画面」の場合は書誌事項下の各種リンク欄 (図 2) を、「論文詳細表示画面」の場合は「この論文を読む/探す」を見るとわかります。

てらざわ ひろこ: 関西労災病院 図書室

[※] 情報学²⁾

情報の発生・記録・収集・分析・論理的処理・蓄積・検索・配布・理解・活用に関する最適の方法と手段の開発などを研究の対象にする学問のこと。似た用語に情報科学があるが、これは情報の持つ論理的・数学的構造やアルゴリズムを研究対象にしており、情報学は性質の違った大量の情報をどのように扱うかを追求するものである。情報の発生する分野を意識してとらえるか否かで、学問分野ごとの○○情報学や情報○○学が唱えられる。

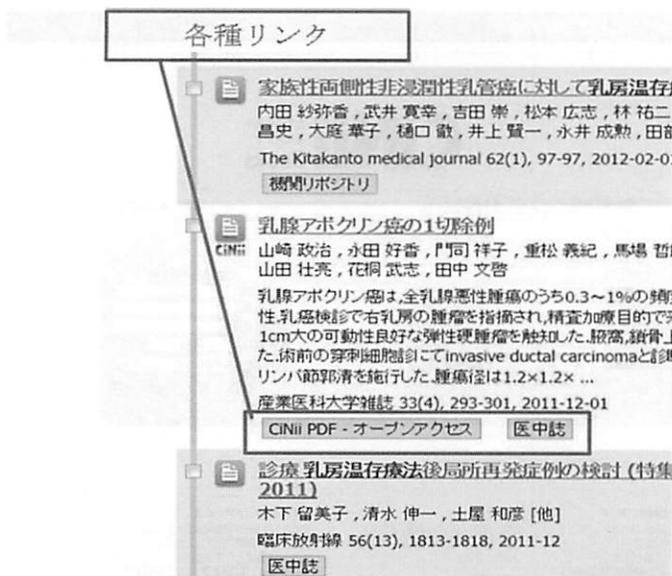


図2 CiNii Articles 結果一覧画面

たとえば各種リンク欄の「機関リポジトリ」や「CiNii PDF-オープンアクセス」であれば無料で全文が利用できます。全文はすべてPDF形式です。

全文が掲載されている雑誌名はトップページの検索ウインドウ下にあるCiNii本文収録刊行物ディレクトリ(図1)で調べることができます。

CiNii Articlesは2007年に約300万件分の論文データをGoogleによるクロール(ロボットによるデータ収集)の対象にしたため、Google Scholarから論文の論題、著者名、抄録などが検索できるようになっています³⁾。

2. CiNii Books 大学図書館の本を探す

(1) 概要

<http://ci.nii.ac.jp/books/>からアクセスします。

全国の大学図書館などにどのような学術文献(図書・雑誌)が所蔵されているかを探ることができます(2011年11月公開)。書誌情報 約1,000万件、所蔵情報 約1億1,000万件、著者名典拠情報 約150万件を検索することができます。

文献複写依頼先を探す際などに利用しているNACSIS Webcatは2013年3月にサービスを終了するため、今後はCiNii Booksを利用することになります。

(2) 検索方法

図書・雑誌検索(簡易検索と詳細検索)、著者名検索があります(図3)。

資料名を入力して検索し、該当する資料名をクリックすると詳細表示画面にかかります。ここでは所蔵館情報が表示されていて、地域やILL参加レベル、OPACリンクがある施設で絞り込むことができます(図4)。

検索語をクリアするボタンはありませんが、画面左上のCiNiiバナーをクリックすると検索語をクリアしたトップ画面に戻ります。

3. WebcatPlus 本・雑誌を探す

(1) 概要

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>からアクセスします。

江戸前期から現代までに出版された膨大な書物を自由に探索できることを目指したものです。全国の大学図書館や国立国会図書館の所蔵目録、新刊書の書影・目次DB、古書店の在庫目録、

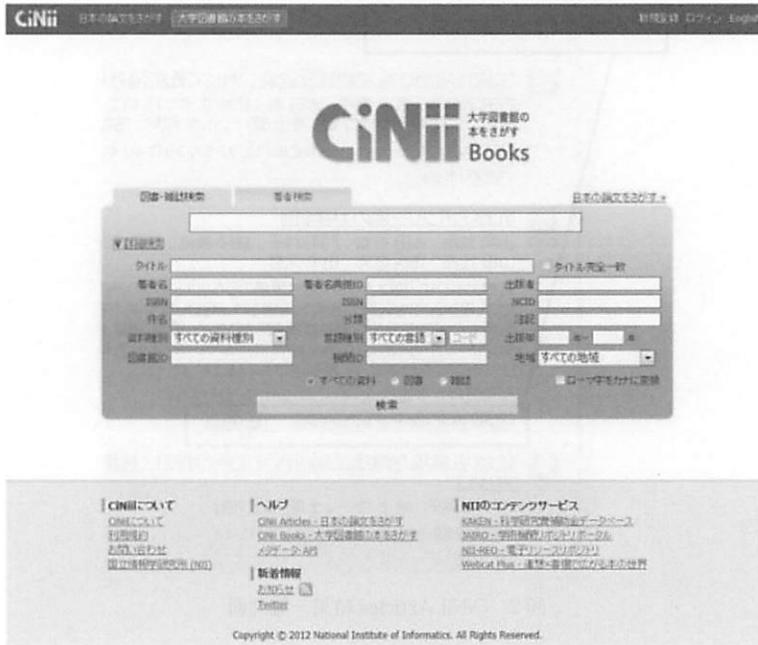


図3 詳細検索トップ画面

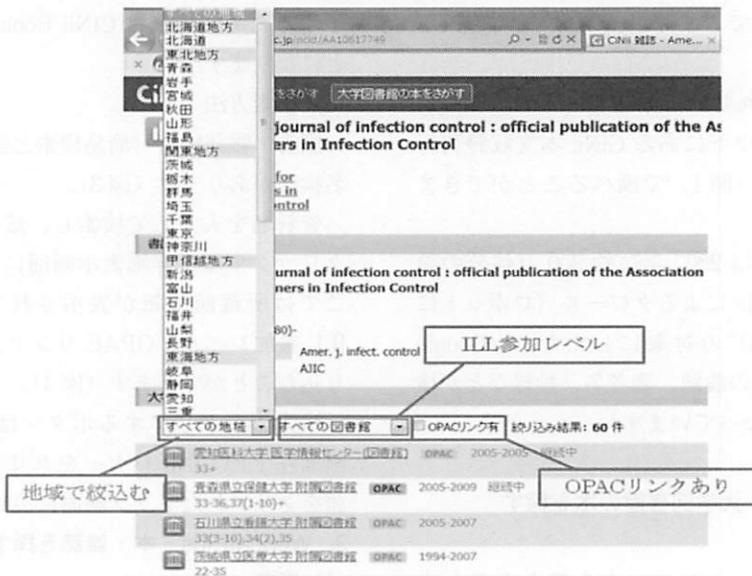


図4 CiNii Books 雑誌詳細表示画面

電子書籍 DB など、本に関するさまざまな情報源が統合されています。

前述の CiNii Books は求める資料の所在を探すもので、WebcatPlus は新しく資料を探すもの

です。

(2) 検索方法

連想検索と一致検索があります。

連想検索とは、「使われている言葉の集まりを



図5 Webcat Plus 連想検索



図6 Webcat Plus 連想×書棚

手がかりにした仲間探し」のことで、文章を使って検索します。検索結果の右側にある「連想ワードで絞り込み」(図5)を使うとさらに絞り込むことができます。

一致検索は一般的なキーワード検索のことで、本・作品・人物からそれぞれ検索することができます。

(3) 書棚

自分専用の仮想書棚を最大6個まで作成することができます。お気に入りの本や興味のある分野の本や人物などを、連想検索や一致検索の結果を使って書棚に加えて、書棚中央にある「この書棚とつながる本」をクリックすると、その書棚の内容を起点とした連想検索結果が表示されます(図6)。

IV. 同様なほかのサービスとの違い

1. 学会誌の電子化

国内の学術雑誌を電子化するという事業は、科学技術振興機構でも行っています。NIIの電子化事業と重複させずにより多くの資料の電子ジャーナル化を進めるため、2008年に両組織が連携・協力する覚書を結んでいます⁴⁾。

2. 検索機能

CiNiiは、医中誌WebやJDream II、最新看護索引Webと比べると、収載する論文情報の範囲が違い、国内のあらゆる分野の論文情報を扱っています。そのため、医学とは直接関連の薄いものでも検索できます。たとえば、病室の照明に関する文献であればCiNiiの検索結果で「照明学会誌」の新しい情報を得ることができます。

CiNiiではシソーラス用語は使われていないようですが、全文検索機能を使ってPDF化されたテキストのすべて（参考文献までも）から検索することができます。

3. ほかの電子ジャーナル製品

電子ジャーナル製品には、医学書院Medical Finderや、PierOnline、メディカルオンラインなどがあります。NIIと比べると商業誌を中心にしているところが違います。メディカルオンラインには、商業誌だけでなく大学の紀要や病院の学術雑誌なども入っています。

V. おわりに

今回はNIIが提供しているサービスを3つ紹介しましたが、NIIではほかにも学協会や大学図書館などとの大規模な連携や支援を行っています。もし病院図書館が提供者として参加できるとしたら、すでに複数の施設が参加しているNACSIS-CAT/ILLでしょう。それでもいくつかのハードルがあります。

このような活動が行われていることを頭に入れておけば、たとえば「電子ジャーナルをたくさん買うぞ、一括管理できる仕組みはないか?」、「当院の学術雑誌を一般に広く公開したいがなか支援を受けることができるか?」などという“イザ”というときの備えにできるのではないかと思います。

参考文献

- 1) 国立情報学研究所. サービス・事業. [引用 2012-07-25]
<http://www.nii.ac.jp/service/>
- 2) 図書館用語辞典編集委員会編. 最新図書館用語大辞典. 東京: 柏書房; 2004. p. 229.
- 3) カレントアウェアネス. E638 CiNii収録の学術論文データ, Google Scholarから検索可能に. [引用 2012-07-25]
<http://current.ndl.go.jp/e638>
- 4) 国立情報学研究所電子図書館. ニュース 国立情報学研究所(NII)と科学技術振興機構(JST)の学術雑誌電子化関連事業の連携・協力について. [引用 2012-08-15]
http://www.nii.ac.jp/nels_soc/2008/10/nijst.html